

# オープンガーデン を紹介します！



玉林寺 荇原 光男さん宅

見事に敷き詰められた芝生の周りに色とりどりの花が植えられ、芝生の緑と花の色のコントラストが見る人を和ませる荇原さんのオープンガーデン。

荇原さんがガーデニングを始めたのは十数年前。仕事でヨーロッパに出張したとき見た欧風ガーデンに感動をしたことがきっかけであった。

## 楽く楽しむに苦労なし！

ガーデニングを独学で始めた荇原さんにこれまでの苦労を聞いた。「高温多湿の日本できれいな花を咲かせることや開花時期の違うチューリップの花を一齐に咲かせることなどは大変なんです。でも、草花にふれる

ことが楽しいので、苦労と思っただことはないんです」と笑顔で語ってくれた。花を育てることを心から楽しんでいる様子がその笑顔から伝わってきた。



## もっとバラエティに

春に咲くチューリップ、ルピナス、千鳥草、キンギョソウなどが荇原さんのオープンガーデンのお勧め。通りすがりの人に「きれいですね」と言ってもらうことがやりがいになると言う。今後は更に研究を重ね、もっとバラエティにとんだ花を咲かせることが目標だと語ってくれた。

★オーナーからのメッセージ★  
「玄関までのアプローチと緑と花の組み合わせに主眼を置いて庭造りをしています。花の好きな人は、ぜひ一度見に来てください」



★荇原さんのお宅住所  
毛呂山町大字川角 2170  
[http://www.geocities.jp/ienara\\_home/](http://www.geocities.jp/ienara_home/)



# 毛呂山歴史散歩 文化財シリーズ 186 大むかしの目白台

目白台地区は、比企丘陵の南部に位置する岩殿丘陵でも最も先端にあります。現在、道路や宅地が整備され、まさにニュータウンといったたたずまいを見せています。

今から15年ほど前の平成5年から平成6年にかけて、現在のニュータウン造成工事に伴い、目白台地区の大規模な発掘調査が行われました。工事面積約48haのうち、発掘調査の対象となったのが7haほどで、立沢、大満山A、大満山B、金谷、北山、西戸西原、西戸丸山といった遺跡が発掘されました。

西戸丸山遺跡では、炭焼窯の跡が発見されましたが、他の6遺跡では、縄文時代から人々が生活していた痕跡が確認されました。とくに目白台1丁目から3丁目にかけて存在した金谷遺跡から出土した縄文土器は、5000年ほど前のもので、半分に割った細い篠竹で胴部分に幾つもの線を規則的に引き、さらに細い

粘土の紐を幾筋も貼り付けて複雑な文様が施されています。口縁の最上部にカニのハサミのような飾りや、耳たぶのような飾りを貼り付けています。このような土器は、近隣でも発見されていない貴重な資料です。また、土器の口に沿って幾つもの孔を開けた円盤のような形の珍しい浅鉢も2個体出土しており、これらの資料も町内では金谷遺跡以外では発見されていません。

ほかに現在の目白台2丁目では、4500年ほど前の縄文時代のムラの跡も発見されています。目白台地区には、6000年ほど前に人びとが居住し始めてから、何度かムラが作られました。縄文人や平安人の手でニュータウンが作られたといってもよいでしょう。そして時を経て平成時代に至り、現在のニュータウンが作られたという訳です。

目白台から出土した縄文時代の珍品の数々は、9月15日(祝)まで資料館で開催される「第12回夏休み展」で公開されています。



写真：金谷遺跡（目白台1丁目・3丁目）出土の縄文土器

◎オープンガーデンに登録する人を募集しています。詳しくは毛呂山町コミュニティ協議会（役場総務課自治振興係） ☎295-2112内線314まで